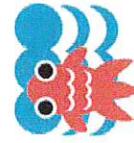


力を合わせて前へ！



奈良県大和郡山市

大和郡山市 定例記者会見

(令和5年11月)

日時: 令和5年11月28日(火)

11時00分～

場所: 大和郡山市役所

4階 小会議室

【報道資料】

- ① 「リニア中央新幹線中間駅の大和郡山市への建設促進期成同盟会」
総会の開催について(企画政策課)
- ② 「第12回 水木十五堂賞」受賞者発表及び授賞式について(企画政策課)
- ③ 郡山城にぎわいづくり事業・生産者定期マーケット
「郡山・市の日」開催について(まちづくり事業課)
- ④ 郡山城天守台プロジェクションマッピングの開催(まちづくり事業課)
- ⑤ 第26回こおりやま歴史フォーラムの開催のお知らせ(まちづくり戦略課)
- ⑥ 障害者週間・みりお～のフェス(障害福祉課)
- ⑦ 令和5年 第4回市議会定例会の議案説明

※記者会見終了後、引き続き、

「大和郡山イルミネーション2023」の発表を行います。



令和5年11月28日

報道資料

件名	「リニア中央新幹線中間駅の大和郡山市への建設促進期成同盟会」 総会の開催について
日時	令和5年11月29日（水）13時30分～15時（受付：13時～）
場所	DMG MORI やまと郡山城ホール・レセプションホール
概要	<p>[次第]</p> <ol style="list-style-type: none">開会会長挨拶 大和郡山市長 上田 清顧問挨拶 大和郡山市議会議長 西川 貴雄 奈良県議会議員 藤野 良次講演 「リニア中央新幹線の現状について」 八千代エンジニアリング株式会社 事業統括本部・国内事業部 社会計画部 技術第4課 長野 成良 氏総会決議閉会 <p>[参加者]</p> <p>市民、市内各種団体及び県議会議員・市議会議員など</p> <p>[共催]</p> <p>大和郡山市・大和郡山市議会・ リニア中央新幹線中間駅の大和郡山市への建設促進期成同盟会</p>
問合せ	大和郡山市 総務部 企画政策課 山本 電話 0743-53-1160



令和5年11月28日

報 道 資 料

<p>件 名</p>	<p>「第12回 水木十五堂賞」受賞者発表及び授賞式について</p>
<p>授 賞 式 日時・場所</p>	<p>令和6年2月11日(日) 13時30分～(受付:13時～) DMG MORI やまと郡山城ホール</p>
<p>概 要</p>	<p>大和の歴史や文化など幅広い分野に関する蒐集と博識から、いつしか「大和の水木か、水木の和か」と呼ばれ、大和を代表する研究者、文人であり、本市に縁のある偉大な先人である水木要太郎（十五堂は雅号）の功績にちなみ、歴史、伝統文化、自然など様々な分野において、蒐集を行うとともに博識をもって社会に貢献した人物を表彰します。（平成24年度から創設。）</p> <p>水木十五堂賞選考委員会〔千田 稔 委員長（奈良県立図書情報館長）〕により、第12回受賞者は、長年にわたって浮世絵の収集と研究に携わり、有名絵師による名品から国内屈指の量と質を誇る「鯉絵」のコレクションに至るまで、多彩な作品群を、黄雀文庫という名のもとに、浮世絵の歴史を通覧できる優れたコレクションとして収集・管理され、浮世絵文化の保存・継承に大変貢献されておられる 佐藤 光信 氏に決定しました。また、今回は市制70周年を記念いたしまして、大和郡山市の文化に貢献されたお二人の方を特別に表彰いたします。</p> <p>授賞式の概要は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授賞式（賞状、記念品、副賞（50万円）の授与） ・受賞記念講演 ・記念座談会 <ul style="list-style-type: none"> 佐藤 光信 氏（（公財）平木浮世絵財団理事長） 神崎 宣武（民俗学者） 西谷 大（国立歴史民俗博物館館長） 武田 佐知子（大阪大学名誉教授） 上田 清（大和郡山市長） ・市制70周年記念特別表彰 <ul style="list-style-type: none"> 受賞者 故 石田 貞雄氏（金魚関連工芸品蒐集） 故 大鎌 淳正氏（古銭関連蒐集） ・浮世絵展示（ホールロビーにおいて） <p>参加希望者は、住所・名前・電話番号・参加人数（3名まで）を電話・FAX・メールにて下記へ。大和郡山市ホームページからも申込可能。 （申込み受付は、12月11日（月）から開始。） 〔参加費無料・要申込み〕 TEL：0743-53-1160 FAX：0743-53-1049 E-mail：mizuki@city.yamatokoriyama.lg.jp https://www.city.yamatokoriyama.lg.jp/</p> <p>【主催 水木十五堂賞運営協議会、大和郡山市、大和郡山市教育委員会】</p>
<p>問合せ</p>	<p>大和郡山市 総務部 企画政策課 山本 電話 0743-53-1160 FAX 0743-53-1049</p>

(別紙)



さとう みつのぶ

佐藤 光信

- 1935年 福岡県久留米市生まれ（昭和10年9月14日生）
- 1958年 リッカーミシン株式会社に入社（同社長平木信二の美術品の収集管理を行う）
- 1971年 同社を退社し、財団法人平木浮世絵財団を設立
- 1972年 東京都中央区銀座にリッカー美術館を開館
- 1989年 リッカー美術館（後に平木浮世絵美術館と改称）館長就任
- 2017年 公益財団法人平木浮世絵財団 理事長に就任

◆主な活動 世界的に知られる平木コレクションの保存および公開と、浮世絵の調査、研究を目的とする平木浮世絵財団の設立に携わり、事業活動を主導して行う。日本初となる浮世絵版画専門美術館（リッカー美術館、後に平木浮世絵美術館に改称）を開設し、数多くの浮世絵展を開催してきた。またドイツやアメリカでも展覧会を開催したほかに、海外に所蔵される浮世絵（シカゴ美術館、ホノルル美術館、ベルリン国立博物館などのコレクション）を日本に里帰りさせている。ポーランドのクラクフ国立博物館、ロシアのエルミタージュ美術館、プーシキン美術館などに秘蔵されていた浮世絵の調査も行った。

《選考理由》

長年にわたって浮世絵の収集と研究に携わり、その浮世絵収集は、内容の充実さによって、高い評価を得、黄雀文庫という名のもとに収蔵・管理されており、筆彩色の初期版面の稀品、錦絵創生前後、浮世絵の黄金時代である天明・寛政期から、明治に至るまで浮世絵の歴史を通覧できる優れたコレクションである。鈴木春信、二代歌川豊国、歌川国貞、歌川国芳などその作品群は多彩であり、また、安政2年(1855)の安政江戸大地震をきっかけに、地震の元凶である鯰をモチーフとした「鯰絵」のコレクションは、国内屈指の量と質を誇るものである。

《佐藤 光信 氏 受賞コメント》

水木十五堂賞を授与下さり光栄に存じます。平木浮世絵財団の設立から五十余年、長きにわたって浮世絵に関わる仕事のできた喜びを感じています。

世界的に知られる平木コレクションを収集した平木信二の遺志を受け継ぎ、数多くの展覧会を開催し、浮世絵や江戸文化の周知に努めてまいりました。その活動の中で、私自身の浮世絵への愛着から収集を始め、いつの間にかコレクションと呼べるような量となりました。今後も収集を続け、浮世絵研究の発展に貢献できるようにしたいと考えています。

私の収集活動を評価していただき、ご推挙いただきました選考委員会の皆様、大和郡山市の皆様には深く感謝申し上げます。

◎受賞者本人への取材は下記にて対応可能です。

TEL : 03-6273-1250 E-mail : hiraki@ukiyoe-tokyo.or.jp

(公益財団法人平木浮世絵財団にて対応)

◎当市から授賞式の写真提供は可能です。

【蒐集物】

黄雀文庫コレクション

平木浮世絵財団の事業活動を続ける中で自身でも収集に努めた結果、浮世絵版画だけでなく、宝船や絵地図などの版画資料、近代の新版画や創作版画まで幅広く網羅したコレクションが形成された。それに加えて、研究書、雑誌、画集、展覧会カタログなど、浮世絵の研究に重要な資料の充実も特筆される。

「黄雀文庫」の名は、祖父佐藤貞次郎の雅号「黄雀」に由来する。

主な収集品 ※写真資料は次ページより

江戸から明治にかけての浮世絵版画・版本等約3000点

・浮世絵版画

- 二代鳥居清倍「坂田市太郎のれんしやうぜう 二代目三条勘太郎のそがの十郎」(元文3年・1738)
- 勝川春章「初代中村仲蔵の工藤」(明和8年・1771)
- 鳥居清長「水茶屋の男女」(安永7年・1778頃)
- 喜多川歌麿「玉屋内 若梅」(寛政5年・1793頃)
- 菊川英山「源氏八景 明石帰帆 玉屋内 濃紫」(文化末期)
- 葛飾北斎「諸国滝廻り 木曾海道小野ノ瀑布」(天保4年・1833頃)
- 歌川広重「松上の木兔」(天保前期)
- 〃「近江八景」八枚揃い(安政4年・1857)
- 歌川国貞「大当狂言之内 七代目市川团十郎の菅丞相」(文化11年1814頃)
- 歌川国芳「通俗水滸伝豪傑百八人一個 早地忽律朱貴」(文政末期)
- 月岡芳年「芳流閣両雄動」(明治18年・1885)
- 鯨 絵 約200点(安政2年・1855)

・版本

- 鳥居清信『風流絵本四方屏風』(元禄13年・1700)
- 喜多川歌麿『青楼絵本年中行事』(享和4年・1804)
- 葛飾北斎『富嶽百景』(天保5年・1834、天保6年・1835)
- 歌川豊国『絵本時世粧』(享和2年・1802)

近代の創作版画等約1000点

- 川瀬巴水「暮れゆく古川堤」(大正8年・1919)
- 伊東深水「髪洗い」(昭和27年・1952)
- 吉田博「日田筑後川の夕」(昭和2年・1927)

浮世絵関係の画集、研究書、雑誌、図録など約3000点

(参考) 公益財団法人平木浮世絵財団について

昭和47(1972)年3月 財団法人平木浮世絵財団 設立

平成25(2013)年4月 公益法人移行登記(内閣府認可)

日本美術を愛好した平木信二氏は、戦後の混乱期に貴重な浮世絵版画のコレクションが海外に流出しようとしたのを、私財を投じて散逸を防ぎ、その公開がわが国文化の発展のために有意義であると、昭和47年に財団を設立した。昭和47年9月に展示施設として「リッカー美術館」(平成5年「平木浮世絵美術館」と改称)を開館し、日本初の浮世絵専門館として数々の展覧会を企画、開催してきた。現在は、常設館は持たず、全国の美術館、博物館において巡回展を開催している。

所蔵作品は、浮世絵版画を主体とし、近代の新版画、創作版画、さらに日本画も含まれている。特に浮世絵版画は、浮世絵の祖・菱川師宣から明治期の作家に至るまで、凡その作家を網羅しており、「平木コレクション」として世界的に知られている。摺り・保存状態にも優れ、重要文化財11点、重要美術品238点の指定を受けている。浮世絵版画を所蔵する美術館、博物館は数多くあるが、国の文化財指定を受けた浮世絵版画の所蔵は、平木浮世絵財団と東京国立博物館だけであり、平木コレクションが質の高い貴重なものであることを示している。

浮世絵版画

黄雀文庫の浮世絵コレクションの特徴は、六大浮世絵師はもちろん、初期から幕末、明治までの幅広い時代にわたって多くの絵師を網羅していることである。名品として知られている作品の他にも、「納涼・花火」「忠臣蔵」「猫」「鯰絵」など、江戸文化の理解に欠かせないいくつかのテーマを設けて集中的に集められた作品群も注目されている。



1
葛飾北斎
「諸国滝廻り 木曾海道小野ノ瀑布」
(天保4 (1833)年頃)

北斎の三大風景画シリーズの一つ。水の流れの表現に注目した北斎の描写が見どころとなっている。



2
喜多川歌麿
「玉屋内 若梅」
(寛政5 (1793)年頃)

大首絵で知られる歌麿の初期の作品。立ち姿に若々しさがうかがえる。



3
歌川広重「近江八景」
(安政4 (1857)年)

風景画の大家・広重による「近江八景」の全八枚が揃う。保存状態がよく、広重の雅趣ある風景描写と、彫と摺の技術の精巧さをうかがうことができる。



4
歌川国芳
「流行猫の戯 おしゅん伝兵衛」
(弘化4～嘉永5 (1847～52) 年頃)

人気役者の似顔をもつ猫が歌舞伎居を演じている。猫好きで知られた歌川国芳は、猫を題材とした浮世絵を多数描いた。

鯨 絵

安政2（1855）年10月2日に起きた安政江戸地震ではその直後から、地震の元凶とされた大鯨をモチーフとした「鯨絵」が売り出された。様々な趣向の約200点が制作されたと考えられ、黄雀文庫の鯨絵コレクションは、質・量共に国内最大級のものと評価されている。



大和郡山市制 70 周年記念特別表彰

受賞者資料

故 石田 貞雄氏
(金魚関連工芸品蒐集)

石田貞雄



石田 貞雄 (1914年~1999年)

大正3年(1914)、大和郡山市西岡町生まれ。
大和郡山市観光協会会長として、長年にわたり金魚のまち
郡山の魅力発信に努めるとともに、「**金魚博士**」として、
テレビ出演や執筆活動を精力的におこなった。

★石田氏と金魚コレクション

昭和二十七年、郡山町教育委員に選ばれたが、
金魚の沿革についての調査が大変多いのである。
金魚のことならまかせなさいという金魚屋さん
自体あまり御存知ない。その頃私は郷土史にも興
味を持っていて、いろいろ調べていたので、その
先輩の先生達に聞いてもあまり御存知ない。

そこで私は、郡山金魚のルーツを研究してみ
気になったのである。…(中略)…矢田筋に住ん
でおられた郷土史家故大橋宗舟さんは、なかなか
の茶人でもあったが又私には郷土史研究の手ほど
きをして下さった人「石田さん何んでもよろしい
百点集めたら大したものです。」と、大橋さんの
おすすめで、柳沢文庫で展覧することとなった。

四月の上旬城趾に桜の咲く頃、特産金魚の品評
会もあるので、実行した。それが丁度、第一回
「お城まつり」の開催された時だと記憶してい
るので昭和三十五年の春だったと思う。マスコミに
乗じたこの展覧会は効果満点、忽ちして「私の家
にこんなものがあつたから」とか、「金魚のもの
を集めているのならこれを1つ…」という具合に、
急速に集り出した。

その内誰いうとなく、私を金魚に取りつかれた
「金魚マニヤ」だと、しかしそのお蔭で爾来三十
年、コレクションも千数百点となった。

石田貞雄『金魚グラフィティ』光人社一九八六年
一「コレクションを続けて」より

箱本館「紺屋」

藍と金魚の
ミュージアム

大和郡山市観光協会が管理・運営をおこなう藍染め体験施設。

江戸時代から続く藍染め商の町家を改修し、平成12年(2000)4月に開館。

藍染め関連資料や故石田貞雄氏(元大和郡山市観光協会会長)が蒐集した「**金魚**」を
題材にした美術工芸品を多数展示(通称:**金魚コレクション**)。



箱本館「紺屋」外観



石田貞雄「金魚コレクション」

金魚コレクション



大和郡山の金魚の起源については、江戸時代の中ごろ、柳澤吉里が甲府から郡山に転封されたときに、家臣が観賞用に持参したことにはじまるといわれています。

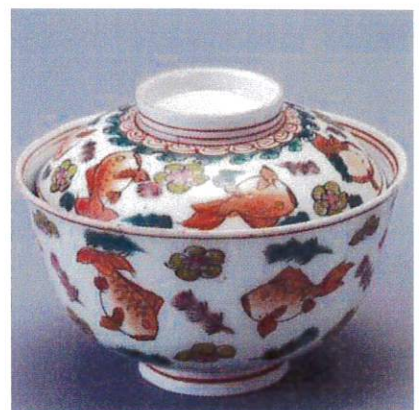
幕末から明治にかけて養殖が盛んに行われ、現在も金魚の生産地として知られています。

金魚のまち大和郡山ならではの「金魚コレクション」は、大和郡山の金魚研究家・故石田貞雄氏が蒐集された、金魚をテーマとした美術工芸品・生活用具など約1,000点を所蔵。

町家を使った展示室にて随時展示替えをしながら公開しています。

陶磁器から絵画・玩具までその内容は実に幅広く、人々の目を様々な形で楽しませてきたその歴史を感じさせます。

同じ金魚とは思えない程、多様性に満ちたそれら一匹一匹に出会ううち、金魚をめぐる日本人、ひいては自分自身の美意識について改めて気づかされることでしょう。

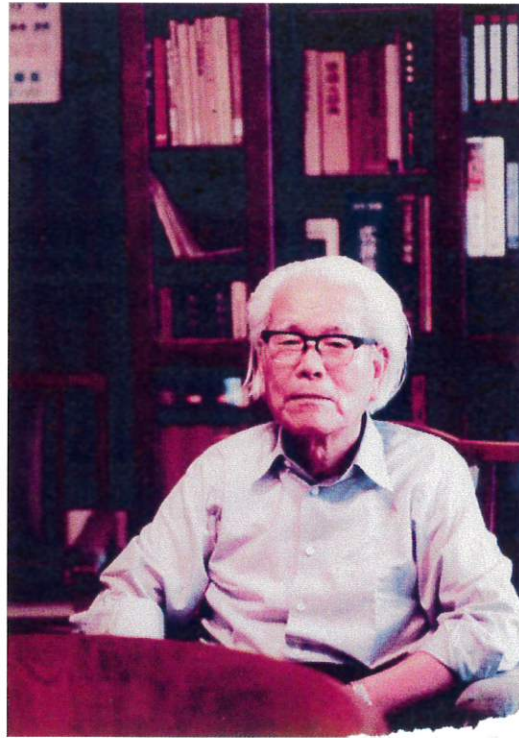


大和郡山市制 70 周年記念特別表彰

受賞者資料

故 大鎌 淳正氏
(古銭関連蒐集)

大鎌淳正



大正3年8月29日生～平成10年3月21日没

大鎌淳正氏は郡山の歴史や文化に造詣が深く、文化財審議会会長として長年大和郡山市の文化財保護につとめられるとともに、古銭・古貨・古紙幣の収集家としても知られ、昭和54年には日本貨幣商協同組合から『古銭語事典』を、昭和56年には(財)郡山城史跡柳沢文庫保存会から『大和紙幣図史』を刊行されている。『大和紙幣図史』は大和国諸藩の藩札や旗本・寺院・神社・町村・商人発行の私札など170種をこえる古紙幣が採録され、それぞれに発行者の歴史的背景や古紙幣の価値や流通の実情などの詳細な解説が付されている。また、平成11年には郡山ゆかり人物や歴史について簡潔に取りまとめた『郡山百話』を上梓されている。

著書

- ・『古銭語事典』昭和53年8月発行、発行所 日本貨幣商協同組合
- ・『大和紙幣図史』昭和56年10月1日発行、発行所 財団法人柳沢文庫
- ・『郡山百話』平成11年3月21日発行、発行者 大和郡山ライオンズクラブ郡山百話委員会

・『古銭語事典』、『大和紙幣図史』



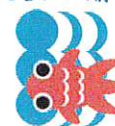
・『大和紙幣図史』掲載（郡山藩札）



水木十五堂賞 選考委員会

- 委員長 千田 稔 (奈良県立図書館情報館長)
- 副委員長 神崎 宣武 (民俗学者)
- 委員 岡本 彰夫 (奈良県立大学客員教授)
- 委員 西谷 大 (国立歴史民俗博物館長)
- 委員 瀧浪 貞子 (京都女子大学名誉教授)
- 委員 武田佐知子 (大阪大学名誉教授)
- 委員 松本 紘 (公益財団法人 国際高等研究所所長)
- 委員 柳澤 保徳 (公益財団法人 郡山城史跡・柳沢文庫保存会副理事長)
- 委員 吉田 栄治郎 (公益財団法人 郡山城史跡・柳沢文庫保存会研究員)
- 委員 上田 清 (大和郡山市長)

(令和5年4月1日現在)



令和5年11月28日

報道資料

件名	郡山城にぎわいづくり事業・生産者定期マーケット 「郡山・市の日」開催について
日時	令和5年12月10日（日）8時～11時 ※雨天中止
場所	郡山城跡 郡山城情報館一帯
概要	<p>令和4年11月、本市最大の歴史文化遺産である郡山城跡が国史跡になりました。令和7年3月には郡山城跡公園がグランドオープンを迎えます。いよいよ郡山城跡公園をまちづくりの核として機能させる時がやってきました。</p> <p>本市まちづくりには「城」と「城下町」が相互に循環する仕組みが必要です。城下町エリアでは「未来の素敵な暮らし」をテーマに、地元商業者を中心とした定期マーケットが開催され、大和郡山で暮らす日常的な魅力と良き商いが向上していきます。その一方で、城エリアでは「賑わいづくり」をテーマに、地元生産者を中心にした朝市を定期的で開催することで、生産者にとっては農産物のPRや販売機会の充実を図るとともに、消費者にとってはお城での朝市という非日常の体験や刺激を楽しんでもらおうとするものです。</p> <p>(主催) 郡山城にぎわいづくり実行委員会 (共催) 大和郡山市・大和郡山市農業振興協議会</p>
問合せ	大和郡山市 都市建設部 まちづくり事業課 柴田・杉本 電話 0743-53-1151(内線631)

第1回

郡山・市の日



開催日：令和5年12月10日(日)

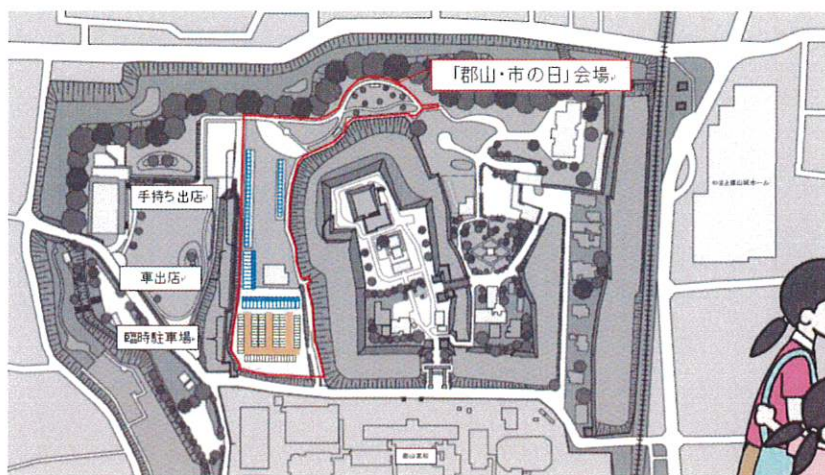
時間：午前8時～午前11時 雨天中止

会場：郡山城跡 郡山城情報館一帯

(来場者用駐車スペース有ります)

★地元生産者による農産品を中心に、
手作り品や加工品、掘り出し物など
ぜひお買い求めお越しく下さい！

(会場図) ※予定



市HPへ

■主催 郡山城にぎわいづくり実行委員会

■共催 大和郡山市・大和郡山市農業振興協議会

～お問合せ～ 郡山城にぎわいづくり実行委員会事務局

(大和郡山市まちづくり事業課)

☎0743-53-1689



令和5年11月28日

報 道 資 料

<p>件 名</p>	<p>郡山城天守台プロジェクションマッピングの開催</p>
<p>日 時</p>	<p>令和5年12月2日（土）18時00分～19時40分 ※雨天中止</p>
<p>場 所</p>	<p>郡山城跡・常盤郭</p>
<p>概 要</p>	<p>普段とは異なる視点から郡山城の壮大な石垣を体感してもらうため、映像と音楽によって表現する「3Dプロジェクションマッピング」を実施します。実施にあたっては、「教育研究の成果を社会還元する機会づくり」「地域活性化に寄与する若者の人材育成」を通し、大和郡山市の地域活性化に寄与する事業を相互に協力して実施することを目的として締結された市・阪南大学・奈良工業高等専門学校による地域連携事業に関する連携協定の成果として、学生が企画・制作したプロジェクションマッピングを披露します。</p> <p>（主催）郡山城にぎわいづくり実行委員会</p> <p>（時間）1部：18時～18時40分 2部：19時～19時40分</p> <p>（内容）【1部】①歴史講演（20分） ②プロジェクションマッピング（15分）</p> <p>【2部】①生成AIの活用に関する講演（20分） ②プロジェクションマッピング（15分）</p> <p>プロジェクションマッピングのテーマ 「～大和郡山のクリスマス～」</p> <p>（参加費）無料</p> <p>（定員）各部150人</p> <p>※特設観覧席での観覧申込は当日受付いたします。 ※特設観覧席以外からも観覧することができます。 （その他の催し）・天体観測コーナー・商工会等による食販</p>
<p>問合せ</p>	<p>大和郡山市 都市建設部 まちづくり事業課 柴田・杉本 電話 0743-53-1151(内線631)</p>



令和5年11月28日

報道資料

<p>件名</p>	<p>第26回こおりやま歴史フォーラムの開催のお知らせ</p>
<p>日時</p>	<p>令和6年2月17日（土）13時00分～16時00分</p>
<p>場所</p>	<p>DMG MORI やまと郡山城ホール 小ホール</p>
<p>概要</p>	<p>令和6年1月に、大和郡山市は市制70周年を迎えます。そこで、第26回歴史フォーラムを「大和郡山市市制70周年 やまこおりやまの礎—近代郡山を築いた人々—」として開催し、大和郡山市誕生前夜の明治から戦前期に現在の大和郡山につながる産業や交通を発展させた偉人たちについて講演いただき、検討を加えます。</p> <p>(参加費・定員) 無料、定員200人、要申し込み</p> <p>(講演内容)</p> <p>記念講演1 「郡山の近代-明治維新の激動を郡山はどう乗り切ったのか-」吉田 栄治郎 氏 (公益財団法人 郡山城史跡・柳沢文庫保存会研究員)</p> <p>記念講演2 「小泉の近代」</p> <p>奥本武裕氏 (天理大学・帝塚山大学 非常勤講師)</p> <p>ミニシンポジウム「近代郡山を築いた人々」</p> <p>吉田 栄治郎 氏、奥本 武裕 氏、上田 清 大和郡山市長 司会 青山加奈子 (市まちづくり戦略課)</p>
<p>問合せ</p>	<p>大和郡山市 都市建設部 まちづくり戦略課 文化財保存活用係 青山 電話 0743-53-1759(直通)</p>

第26回こおりやま歴史フォーラム開催のお知らせ

■テーマ 大和郡山市市制70周年 やまとこおりやまの礎—近代郡山を築いた人々—

■日時 2月17日(土)13:00~16:00 (12:30 受付開始)

■会場 DMGMORI やまと郡山城ホール小ホール

■開催趣旨 令和6年1月、大和郡山市は市制施行より70周年となる節目を迎えます。大和郡山市は郡山町を母体として、筒井村、矢田村、昭和村、平和村、治道村の各村を編入して昭和29年に成立し、その3年後に片桐町と合併して現在の市域が完成します。

大和郡山市誕生の前夜にあたる明治から戦前期には、現在の大和郡山市につながる産業や交通を発展させた偉人たちがいました。

たとえば、明治時代に金魚・鯉の養殖販売業を始めて金魚のまち郡山の礎を築いた小松春鄰、片桐村初代村長にして市内交通の要である大和小泉駅の開業に尽力した村戸賢徳、産業組合を組織して農業経営の基盤をつくった越智太兵衛、郡山紡績株式会社を立ち上げ近代郡山の産業界を支えた前川昶徳、南都銀行の前身となる第六十八国立銀行を設立した三木與など、現代の大和郡山の成り立ちに大きな影響を与えた人物は枚挙にいとまがありません。

市制70周年にあたり、「やまとこおりやまの礎」を築き上げた人々の功績を見つめなおし、同時に大和郡山の未来を考えます。

■講演内容

記念講演1 「郡山の近代—明治維新の激動を郡山はどう乗り切ったのか—」
吉田栄治郎氏 (公益財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会 研究員)

記念講演2 「小泉の近代」
奥本武裕氏 (天理大学・帝塚山大学 非常勤講師)

ミニシンポジウム「近代郡山を築いた人々」
吉田栄治郎氏、奥本武裕氏、上田清大和郡山市長
(司会：大和郡山市まちづくり戦略課文化財保存活用係 青山加奈子)

■定員200名(入場無料) ※事前申し込みが必要です。

■申込方法

氏名、生年月日、住所、電話番号を明記し、往復はがきかEメールにて申し込みください。

※定員を超えた申し込みがあった場合は抽選とします。

※電話での申込受付はしません。

■申込期限

令和6年1月15日(月)17:00 ※はがきは同日必着。

※受付は12月1日(金)より開始します。

■申込先

宛先：〒639-1198

大和郡山市北郡山町248-4 大和郡山市役所まちづくり戦略課 歴史フォーラム担当宛

Eメール：senryaku@city.yamatokoriyama.lg.jp

(件名を「歴史フォーラム参加申込」として下さい。)

■問合せ まちづくり戦略課文化財保存活用係(内線733)

大和郡山市市制七〇周年

第二十六回こおりやま歴史フォーラム

やまとこおりやまの礎

— 近代郡山を築いた人々 —

記念講演

吉田栄治郎

(公財)郡山城史跡・柳沢文庫保存会 研究員

郡山の近代

— 明治維新の激動を郡山はどう乗り切ったのか —

記念講演

奥本武裕

天理大学・帝塚山大学

非常勤講師

小泉の近代

ミニシンポジウム

吉田栄治郎

奥本武裕

上田清大和郡山市長

近代郡山を築いた人々

大日本紡績郡山工場(昭和10年ごろ)

令和6年2月17日(土)13時~16時
(12時30分開場)

場所

DMG MORIやまと郡山城ホール 小ホール

要申し込み

入場無料

定員200人



大和郡山市制70周年
Yamatokoriyama City

令和6年1月、大和郡山市は市制施行より70周年となる節目を迎えます。

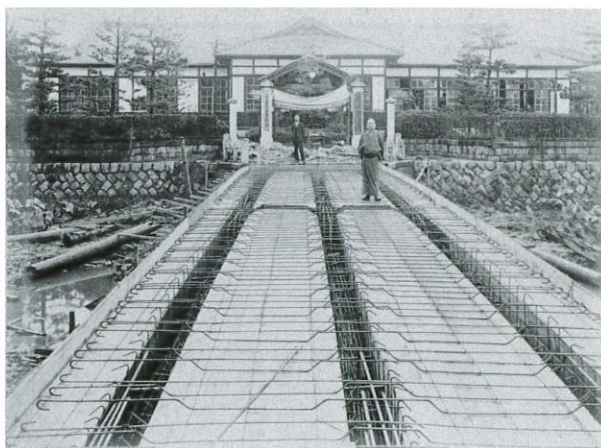
大和郡山市は郡山町を母体として、筒井村、矢田村、昭和村、平和村、治道村の各村を編入し、昭和29年に成立しました。その3年後に片桐町と合併して現在の市域が完成します。

大和郡山市誕生前夜の明治から戦前期には、現在の大和郡山市につながる産業や交通を発展させた偉人たちがいました。

市制70周年にあたり、「やまこおりやまの礎」を築き上げた人々の功績を見つめなおし、同時に大和郡山の未来を考えます。



郡山城下町(昭和30年ごろ)



建設中の百寿橋と郡山町役場(昭和11年ごろ)



北大工町付近の矢田町通り(昭和30年ごろ)

プログラム

12:30-13:00	受付
13:00-13:05	開会 趣旨説明
13:05-13:10	大和郡山市長 挨拶
13:10-14:00	記念講演①
郡山の近代 —明治維新の激動を郡山はどう乗り切ったのか—	
吉田栄治郎 (公財)郡山城史跡・柳沢文庫保存会 研究員	
14:00-14:50	記念講演②
小泉の近代	
奥本武裕 天理大学・帝塚山大学 非常勤講師	
15:00-16:00	ミニシンポジウム
近代郡山を築いた人々	
吉田栄治郎 奥本武裕 上田清 大和郡山市長	

申込方法

氏名、生年月日、住所、電話番号を明記し、往復はがきかEメールにてお申込みください。

申込先

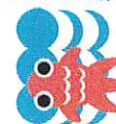
宛先:〒639-1198
大和郡山市北郡山町248-4 大和郡山市まちづくり戦略課
歴史フォーラム担当宛

Eメール:senryaku@city.yamatokoriyama.lg.jp
(件名を「歴史フォーラム参加申込」としてください。)

申込期限

令和6年1月15日(月)17:00

- 定員を超えた場合は抽選とします。
- 電話での申し込みはできません。
- 一回につき一名様の申し込みとなります。同伴者がある場合は各自ご応募ください。
- 指定席ではありません。



令和5年11月28日

報 道 資 料

件名	障害者週間・みりお～のフェス
日時	令和5年12月4日（月）～12月8日（金）
場所	交流棟みりお～の1階 百寿橋商店みりお～の
概要	<p>「国際障害者デー」である12月3日から日本の「障害者の日」である12月9日までの1週間は「障害者週間」です。国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として定められました。</p> <p>令和5年7月交流棟みりお～の1階にオープンした障害者福祉ショップ「百寿橋商店みりお～の」では、障害者週間に合わせてイベントを企画しています。皆さまのお越しをお待ちしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 12月4日（月）～8日（金） 特別支援学校の作品展示 ■ 12月4日（月）こころの体温計 ストレスチェック 【彩食キッチンBon・ふれあい工房】 ■ 12月5日（火）点字体験【ワークセンターこすもす・ギブアンドテイク・ライフ】 ■ 12月6日（水）缶バッジづくり 【ぴいす・みんなの広場らんまん】 ■ 12月7日（木）さをり織り展示・キーホルダー制作 【ひかり園・就労支援センター】 ■ 12月8日（金）きんぎょちゃんグッズ作り体験・ステンシルコースター作り体験【はるかぜ・Com.きらめき】
問合せ	大和郡山市 福祉部 障害福祉課 障害福祉係 喜多 電話 0743-53-1151(内線540)

みりお～のフェス

みりお～とは

郡山城の中堀に架かる百寿橋。その橋のたもとに、市民と障害者が交流と理解を深める「百寿橋商店みりお～」があります。
みりお～の(mirio)はエスペラント語で百万を表す言葉。百万のしあわせを寿ぐ笑点となりますよっ、みなさまのお越しをお待ちしています。

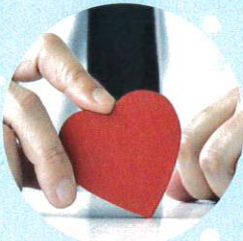
2023 **12.4** 月 ~ **12.8** 金
10:00 ~ 15:00

in 大和郡山市役所
交流棟みりお～の内 百寿橋商店

出店者

はるかぜ
びいす
みんなの広場らんまん
ワークセンターこすもす
Com.きらめき
奈良就労支援センター
ふれあい工房
ギブアンドテイク・ライフ
彩食キッチンBon
ひかり園

12.4
月曜日



こころの体温計
ストレスチェック

無料

彩食キッチンBon・
ふれあい工房

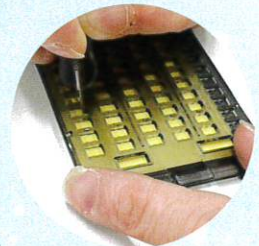
12.4 日
~
12.8 日



特別支援学校の
作品展示

無料

12.5
火曜日



点字体験

無料

ワークセンターこすもす・
ギブアンドテイク・ライフ

12.6
水曜日



缶バッジづくり

¥200

びいす・みんなの広場らんまん

12.7
木曜日



さをり織り展示・
キーホルダー制作

¥500

ひかり園・
奈良就労支援センター

12.8
金曜日



きんぎょちゃん
グッズ作り体験・
ステンシルコースター
作り体験

¥100

はるかぜ・Com.きらめき

message

12月3日から9日は障害者週間です。百寿橋商店は、大和郡山市内の10の障害福祉事業所が協力して運営する福祉ショップを、市役所交流棟みりお～内に設置しています。

障害者週間の期間中、百寿橋商店が開催する「みりお～のフェス」では、各障害福祉事業所が日替わりで健康、福祉、ものづくりなどを体験できるイベントを実施します。また、大和郡山市内の特別支援学校に通う生徒が制作した作品も展示されます。

information



出店者

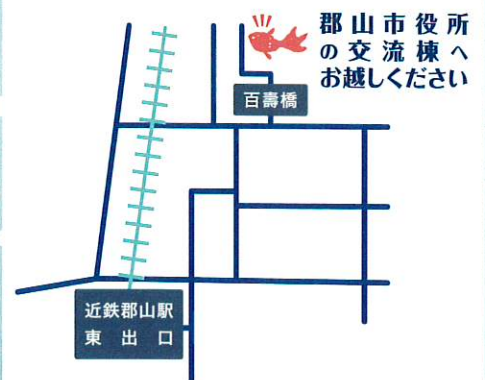
大和郡山市福祉ショップ連絡会参加事業所
場所

大和郡山市役所
交流棟みりお～の内 百寿橋商店
大和郡山市北郡山町248番地4 交流棟1階

お問合せ先

大和郡山市役所障害福祉課


map





令和5年11月28日

報 道 資 料

件名	大和郡山イルミネーション2023
日時	令和5年12月1日（金）から令和6年2月4日（日） 日没後（17時～17時30分）から21時30分
場所	DMG MORI やまと郡山城ホール
概要	<p>大和郡山市の冬を彩るイルミネーションを今年も関西文化芸術高等学校の皆さんがデザインしました。</p> <p>今年の見どころは、LEDエリアの拡大です。DMG MORI やまと郡山城ホール正面玄関植栽もイルミネーションで飾ります。</p> <p>また昨年ご好評いただきましたスタンドグラス調飾りは、別紙のデザインを考えていただきました。今年も大和郡山イルミネーションにお立ち寄りください。</p> <p>また、12月1日は点灯式を行うと共に縁日も開催します。子どもさん向けのお店や金魚すくいももちろん出展予定です。今年の締めくりに元気城下町バスパークで楽しんでください。</p> <p>◆開催期間：令和5年12月1日（金）から令和6年2月4日（日） ◆点灯時間：日没後（17時～17時30分）から21時30分 ◆点灯式：令和5年12月1日（金）17時30分から30分程度 ◆縁日：令和5年12月1日（金）16時～19時30分 ◆点灯式・縁日会場：元気城下町バスパーク</p>  <p style="text-align: right;">（イルミネーション2022の様子）</p>
問合せ	<p>大和郡山イルミネーション実行委員会事務局 大和郡山市 産業振興部 地域振興課 下西 電話 0743-53-1608・FAX 0743-55-4911</p>

大和郡山イルミネーション

2023



開催期間

点灯時間

令和5年12/1(金) ~ 令和6年2/4(日) 日没後 ~ 21時30分

DMG MORI やまと郡山城ホール

◆12/1(金) 17:30~イルミネーション点灯式

◆12/1(金) 16:00~19:30

元気城下町バスパークにて縁日・模擬店を実施します!

(金魚すくいもやっています!)

問合せ先

大和郡山イルミネーション実行委員会

事務局：大和郡山市役所地域振興課内

電話：0743-53-1608

※写真は昨年の様子です

※無料駐車場はありません

チラシデザイン

関西文化芸術高等学校 市井さん

